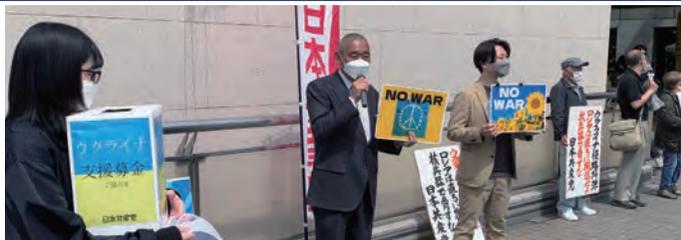


私のあゆみをご覧ください



ウクライナ支援募金のとりくみで訴え

戦争反対・平和が原点

戦争でシベリアに抑留された父が「まさか戦争になると思っていなかったが、あれよあれよという間に突き進んでしまった」と話していたことが忘れられません。学生時代に平和や社会進歩のために政治を変えるという日本共産党に会い入党。平和が私の政治活動の原点です。

尊敬する父や祖父のように

父が町会議員、祖父が町長という家庭に育ち政治を身近に感じていました。保守的な立場でしたが住民のために活動していた父や祖父を今も尊敬しています。困っている人のために役に立ちたいという気持ちで、30歳の時に市議選への要請を受け今日まで、挑戦の日々です



みなさんの声を聞くところから私の活動は始まります

ひきつづき5名の市議団を



(左から)若木さなえ、中町さとし、永元きょうこ、上條彰一、浅川修一の名氏

あなたのお力をお貸しください

● 宣伝活動にご協力ください

ポスターの掲示、ビラやリーフレットの配布活動にご協力ください。街頭演説への手ぶりも励みになります。SNSでの発信・拡散もぜひお願いします。

● お友だちをご紹介ください

つながりを生かして、お友だちやお知り合いに支持を広げてください。紹介していただける方がおられましたら、ぜひお知らせください。

● 募金もおねがいします

企業・団体献金、政党助成金に依存しない日本共産党を支えてください。募金は郵便振替やネット(東京都委員会 HPから)でも受け付けています。

浅川修一 事務所

- 立川市柴崎町1-25-18
- TEL. 042-522-8606

活動地域

柴崎町全域、富士見町3丁目9~21、4丁目20~23、5丁目23~27、6丁目、7丁目



がんを克服、
ふたたび市政に挑戦

立川市議会議員(7期)

浅川 修一

あさかわしゅういち

プロフィール●山梨県高根町(現北杜市)生まれ●岩手大学工学部卒(現理工学部)●自動車部品会社で働く、赤旗出張所勤務●都議1期、市長選に立候補、市議7期(通算)総務委員長、環境建設委員長など歴任●現在、市議会総務委員、立川・昭島・国立聖苑組合議会副議長。



<https://www2.jcp-tokyo.net/asakawa/>



日本共産党

立川民報

日本共産党立川市委員会が浅川修一さんの政策と見解を発表しました
2022年5・6月号外 発行立川民報社/立川市上砂町3-20-1

浅川修一さんと力をあわせてがんばります



参議院議員(東京選挙区)

山添 拓

ウクライナ危機に乗じた「戦争する国づくり」を許さず、行き過ぎた新自由主義を転換し「やさしく強い経済」をつくります。市民の命とくらしを守る先頭に立ってきた立川市議団と力を合わせてがんばります。

浅川 修一



ロシアのウクライナ侵略は許せません。直ちに撤退を求めます。こうした時に、安倍元首相や日本維新

の会などが「核兵器の配備の議論が必要」などと、軍事には軍事という主張は、プーチン大統領と同じ立場であり私は反対です。いまこそ憲法9条を活かした外交努力が求められています。戦争反対、平和の声を立川から発信するためにがんばります。

11年前に妻をがんで亡くし、一昨年には、私自身ががンを患い多くの人の支えで乗り越えました。この経験からこれまで以上に社会的立場の弱い人に寄り添い、その声なき声を市政に届けたいと決意しています。



地域、住民の声をまっすぐ市政に届ける

区画整理の清算金負担をゼロに

事業開始から50年が経過した立川駅南口の区画整理で、関係者約1千人に清算金という住民負担が発生する問題で、6回連続の一般質問を行い、清算金の徴収をやめるように提案。ついに市も「徴収はゼロにする」と答弁しました。区画整理では全国でも例のない約9億円の住民負担をなくしました。

被爆者見舞金制度を実現

戦後数十年も経ち広島・長崎から遠く離れている立川に被爆者手帳を持つ方が約100人もいることや依然として健康不安や差別・偏見などで苦しんでいることを聞き、原爆被爆者への支援として見舞金制度を提案し、年1回1万円の見舞金を実現し現在まで続いています。

みなさんと力をあわせて実現します！

がん対策基本条例をつくります

がんは2人に1人がかかると言われ、治療、再発の不安、後遺症、日常生活から職場復帰も大変です。さらに、子どもや若い世代ががんになった時の悩みなど多くの困難や課題があります。立川市に「がん対策基本条例」を制定し、がん対策を強力にすすめます。

教育支援の充実に取り組みます

30代から50代の世帯所得が20年前に比べ100万円も減っていることが政府の諮問会議で明らかになりました。いまこそ教育支援策の充実が求められています。すべての児童生徒にランドセルや制服代、卒業アルバムの補助制度をつくります。

寝たきり高齢者のおむつ代補助を元に戻します

立川市は、寝たきり高齢者のおむつ代補助を月8千円から5千円に削減してしまいました。高齢者を介護している家族から福祉がすごく削られた実感がすると声が寄せられています。元の月8千円に戻すために頑張ります。